

「GIS 学術士」資格について

1. GIS 学術士とは

GIS（地理情報システム）とは、デジタル地図を活用して地域分析を行うソフトウェアで、カーナビや Google Maps（PC やスマホで自由に拡大・縮小して見られるマップ）などに応用されています。

「GIS 学術士」とは公益社団法人日本地理学会の認定する資格であり、GIS に関する知識を持って地域分析を行える一定の能力を証明するものです。

2. GIS 学術士を取得するためには

GIS 学術士資格は、国際・地域共創メジャーを選択した学生のうち、①下表の A～D の科目の単位を全て修得すること、②地理学系のメジャー専門ゼミナール（小原・田中・葉）で卒業論文を執筆する、③GIS を利用した卒業論文を提出すること、の 3 点が必要です。なお、メジャー専門ゼミナールには定員があるため、希望するゼミナールに所属できない場合があります。

科目の分類	科目名（単位数）	開講対象年次
A. GIS に関連する情報処理	情報リテラシー（2 単位）	1 年次前期
B. GIS の基本的機能と空間データの講義	地理空間情報論（2 単位）	2 年次
C. GIS による地図作成・空間分析の実習	社会調査演習Ⅱ（4 単位）※	3 年次
D. GIS を利用した卒業論文執筆	卒業研究（6 単位）	4 年次

※「社会調査演習Ⅱ」は 2 年次 1・2 月頃に開催する事前ガイダンスに必ず出席して下さい。

3. 申請について

上述の①～③の条件を満たした後、年 3 回設けられている申請受付期間中に、必要事項を記入した申請書を認定委員会に提出します。「GIS 学術士」認定手数料は 6,600 円(税込み)。

また、本申請に先駆けて、4 年次に「GIS 学術士」認定見込みを受けることもできます。3 年次までに上記 A～C を全て修得、あるいはそのうち 2 科目以上修得したうえで残りの 1 科目を履修中である必要があります。認定見込みの手数料は 1,320 円(税込み)です。

4. その他

詳細については（公社）日本地理学会資格専門委員会「GIS 学術士制度について」HP (<http://ajg-certi.jp/gis.html>) を確認して下さい（右の QR コード）。

また、来年度以降も年度始めのガイダンスでアナウンスがありますので、必ず出席して下さい。



5. 問い合わせ先

田中耕市（経済地理学研究室） koichi.tanaka.gis@vc.ibaraki.ac.jp

メール件名を「GIS 学術士について」として、自身の学籍番号・名前を必ず添えて下さい。